

特集

一般社団法人茗溪会第3回定時総会

目次

- グラビア…… 01～02
- 特集 茗溪会第3回定時総会…… 03～13
- 暑中見舞申し上げます 名刺交換…… 14～15
- 連載特集予告…… 16
- 第40回宿舎祭「やどかり祭」を終えて
実行委員長 滝本壮大…… 16
- 大学は今…… 17
- 公開講座「単語の並べ方」藤原保明…… 18～19
- 茗溪・東西南北…… 20
- 茗溪学園だより…… 21
- 平成26年春の叙勲おめでとうございます…… 22
- 著書紹介…… 22
- 桐の葉のつどい…… 23
- 追悼録…… 24
- 茗溪会行事のお知らせ…… 24
- 広報…… 25
- 編集後記…… 25

茗溪



夏

2014

平成26年

no.1082



中村晋也先生から寄贈され、図書館前広場に建つ彫像「Miserere X VII 1999」



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

ユーハイム®

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っていきます。



はぐくむ、大切なことすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

シダックスグループ営業開発本部

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビルレジ
TEL.03-5784-8853 (代表) FAX.03-5784-8842

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

〈4つのスーパーサイエンス特別専攻〉

- 環境エネルギー
- 生命科学
- ICTスペシャリスト
- 次世代自動車開発

2014年度
4月新設

科学的センスとクリエイティブな実践力を身につけた
理数系教員を養成する

STC サイエンス・ティーチャー
養成コース
SCIENCE TEACHER COURSE

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

理事長 中部 謙一郎
理事 河野 隆二(S47農)
顧問 清水 進一(S43理数) (神奈川茗溪会 会長)
監査室 矢野 正人(S53院修農) (同 事務局長)

工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科

創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科
[管理栄養士養成課程]

情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科



「単語の並べ方」
藤原保明氏

公開講座

平成26年6月21日(土)

茗溪会館 4階 (参照P.18~19)



司会
北島瑞男氏



やどかり祭

第40回宿舎祭

平成26年5月30・31日

(参照P.16)





学長代理 佐藤 忍氏



一般社団法人茗溪会 第3回
平成26年度 定時総会



受付
会場は2階
になります。



北海道・東北



九州



中部



特集

一般社団法人

茗溪会第3回定時総会

平成26年5月22日(木) 茗溪会館にて

定時総会出席代議員一覧

(敬称略)

附属校 北海道 青森 宮城 秋山 福島 茨城 栃木 群馬	日下部 沖野 大沼 田代 蘇井 (井船 津奥) 鈴木 高仙 武石 宇上 栗	昭夫 寛之 行勝 咲浩 信文 樹操 秀弘 貞利 夫裕	馬玉 葉 省 文 葛 新 中 目 八 神	佐藤 荒相 奥矢 前青 西三 渡浅 中高 小清 小佐	藤井 澤谷 嶋島 川橋 邊井 村橋 島水 山木	功二 夫作 司雄 寛樹 志悟 一郎 司之 雄一 夫悦	長野 新 富 石 静 愛 岐 滋 三 京 大 兵	野 湯 山 川 岡 知 阜 賀 重 都 阪 庫	竹堀 永中 川久 岩鳥 高村 丹町 丹塩 松佐 溝	和達 成郁 善恭 勝利 羽田 羽見 本藤 繁	也郎 一雄 一功 明勇 行之 章登 毅均 範一 美	奈和 歌山 鳥島 岡広 山徳 愛福 佐長 熊大	良山 取根 山島 口島 媛岡 賀崎 本分	藤高 (土有 松長 大鍋 木中 奥野 浦浦 藏渚	善田 肥本 尾辻 井村 山中 下田	尚晴 二博 弘隆 邦久 潤宏 近兼 通悦 勇洋	憲美 二郎 充光 史明 久潤 宏近 兼二 治行
--	--	--	---	--	--	--	---	--	---	---	---	--	--	---	----------------------------------	--	--

一般社団法人茗溪会 第3回 平成26年度 定時総会

挨拶

一般社団法人 茗溪会

理事長 江田 昌 佑



『茗溪会拡充キャンペーン』を推進して行きたいとの考えを披瀝いたしました。

また、そのためには、「5%の会員増加」、「5%の収入増加」、そして「5%の経費削減」を実行に移すべきとして、この拡充キャンペーンを『G・5・g・o』作戦と名付け、私たちの合言葉として、各年間の目標として進めて参りました。今年度もまた、引き続き推進し、一段の充実を図りたいと存じております。

そのため、本部事務局の事務機能の一部を順次、筑波事務所へ移して参り、会員構成の過半数が筑波大学卒業生で占められているという現実を踏まえたサービスの充実を図って参りたいと、既に動き出しているところでございます。

また、東京地域が連合して「東京都茗溪会」として動き出しております。

これらは何れも、『茗溪会』が新しい動きを見せている姿の一環であると存じます。

一方、昨春秋には『開学40+101周年』記念式典が筑波大学において開催されました。その際、全国の茗溪会会員の皆さまには開学記念事業等支援の寄附をお願いし、多額の後援を賜りました。厚く御礼申し上げます。先般、大学の永田学長から感謝状と記念品を贈られました。ここに披瀝申し上げます。なお、この記念関連の寄附のお願いは、今年末までですので、よろしくご後援下さい。母校・筑波大学は、前身諸学校の100年を越える長い伝統に裏打ちされながら、『開かれた大学』としての新構想のもとで、既に40年の充実した年月を経過致しました。

いま大学は、前進する新たな姿として、「未来構想大学」としての更なる挑戦を重ねているとのごことでございます。それは国際的にも高い水準での成果を生む改革を踏まえ果敢なる挑戦であろうと存じます。

永田学長はまた、新たな「知」を継続的に創造する拠点として、それらを先導する人材育成の拠点として、あるいはまた、国内外のイノベーションを先導する大学として、全力を尽くすと言っておられます。

私たち同窓の者としては、それらの動きに対しましても、出来る限り、支えて参らなければならぬと思う次第でございます。

それだけに、私たち自身が推進しております『茗溪会拡充キャンペーン』を、手堅く継続して行くことの必要性を、一層痛感するところであります。

また、このキャンペーン活動でその目標を達成するためには、今まで行つて参りました諸事業の評価を冷静に行い、結果に向かつていないもの、未だ固まっていないもの、あるいは打開すべき課題の検討と打開策を、全国的な視野で行つて参る必要があるかと存じます。

皆さまにおかれましては、前向きな視点と豊かな暖かい眼差しでのご示唆を賜りたいと念願する次第でございます。

皆さまの更なるお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。私のご挨拶と致します。ご静聴ありがとうございます。

本日、一般社団法人茗溪会定時総会を開催致しましたところ、ご多忙中にも関わりませず、全国各地からご出席賜りまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

私どもの茗溪会は、一般社団法人の立場で母校・筑波大学の同窓会としての性格を今まで以上に鮮明にさせるための「新法人」に衣替えをしてから、3回目の総会を開催させていただくこととなります。

平成25年の総会や平成26年の新年のご挨拶等のなかで、事業の基本的な柱として、

- 1 同窓会としての互助事業の充実
- 2 公益目的事業の充実
- 3 大学への支援の充実

を実施して参りたいと私は申し上げて参りました。

そのため、会費制度の改正、地域・職域等の単位組織の活性化のための活動支援の改善、また、世代を繋ぐ事業として「茗溪フェロー」の創設をすること等を図り、



ご挨拶



国立大学法人 筑波大学長

永田 恭介

(代理) 筑波大学教授 佐藤 忍

神が現在にまで引き継がれ、教員あたりの留学生数は国立大学法人の中ではトップです。一方、国内では人類史上まれに見るスピードで少子化が進んでいます。日本の将来を託す人材の育成においては、学生達を国際環境の中でたくましく育てて行くことが重要です。

由緒ある茗溪会の平成26年度の定時総会が開催されましたことに敬意を表しますとともに、絶えることのない日頃からの本学へのご支援に心より感謝を申し上げます。また、昨年10月1日の開学40周年、および創基141年の記念式典および関連行事にも大変なご尽力をいただき、改めてお礼を申し上げます。

我々は、「地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材育成」をミッションとして掲げ、教育・研究活動を進めています。グローバル人材の育成に向けて、国際的な通用性のある教育から一歩進んで国際的に互換性のある教育システムへの転換を目指した努力を続けています。学位プログラム化の推進もこのような考え方に基づいています。国境を越えて優秀な学生や教員を奪い合う時代に入った世界の高等教育においては必然的な努力と言えます。本学では、嘉納治五郎先生が門戸を開かれた海外からの留学生への高等教育の精

端性も重要です。昨年度は本学が目指す国際的に存在感のある研究大学への道を強化する方策の一つとして、計算科学研究センターと生命領域学際研究(TARA)センターの二つを重点研究センターと位置づけ、研究に重点を置いた人員配置が促進されることを考えて人事権を付与しました。また、将来の重点研究センターへと育つ研究拠点として、三つの学術センターを設置しました。今年度は上記に加え、イノベーション創出、すなわち研究成果の社会還元が期待される研究の支援を進めていきます。この観点では、昨年度末(本年3月)に、本学発のベンチャーであるCYBERDYNE社が株式市場に上場できたことは喜ばしいニュースです。2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催へ向けて、スポーツ分野や芸術分野のような、本学ならではの研究分野も今後存在感を増していくと考えられます。今後も、学内のシーズを発掘し、育成できるような視点での改革をすすめていかなければなりません。

今、教育・研究活動の推進以上に求められているのが大学運営、特にガバナンスにおける改革です。運営費交付金が削減される中、大学経営の視点での工夫が必要となつてきています。外部からの資金の獲得はもとより、得られた財源の有効利用については思い切った考え方とこれを実践できる体制が必要だということです。マスマディア等での報道では、教授会の権限の範囲、副学長の職務の拡張などが喧伝されています。しかし、本学は開学の理念と今後の努力で、これらの視点での改革を修了し、その上で学生、教職員、執行部が一体となった組織ですので、他の組織を先導する立場にあると考えています。

「新構想大学」から「未来構想大学」への道程は始まったばかりです。過去、現在、そして未来を通じて、同窓生はもとより本学の活動に関ってきた方々、関わっている方々、そして関わる方々には、その道をすすむ本学を今後とも支えていただきたくお願いを申し上げます。

一般社団法人 茗溪会 (平成26年度)
第3回定時総会
議事(要旨)

一般社団法人茗溪会第3回定時総会は、平成26年5月22日に茗溪会館において開催された。議事に先立ち、田中正造常務理事・事務局長から、代議員総数110名のうち、出席63名、委任状による出席35名、合計98名の出席との報告があった。出席した理事は15名、委任状提出理事は10名であり、監事3名は全員出席であった。

議長就任、議事録署名人及び閉会宣言

定款第15条により議長に江田理事長が就き、定款第19条第2項により議事録署名人には議長及び出席した理事全員であることを告げ、代議員の出席状況から、定款第17条により、総会が成立した旨を告げ、開会を宣言して審議に入った。

審議事項

第1号議案 平成25年度事業報告、収支計算書類等及び監査報告の承認について
 (一) 田中正造常務理事から資料1に基づき、平成25年度事業報告について次のような説明があった。

- 1 会員状況
 - 正会員 20,243 (昨年21,708)
 - 登録会員 54,316
 (2年間会費未納者を含む登録会員数)
- 2 第2回定時総会は平成25年5月30日に開催。



田中正造 常務理事

- 3 理事会は年に7回、開催。
- 4 企画運営委員会は、年4回、財務法務委員会は9月に随時開催し11月にも開催、組織委員会は年3回、大学つくば地域支援委員会は10月に、公益広報等委員会は年間10回、選挙管理委員会は代議員選挙のために2回、顕彰選考委員会は2回、筑波事務所運営会議は1回、中間監査会は11月に1回、大学との連絡・懇談会は年2回開催された。
- 5 公益事業として、①学生支援活動、②顕彰事業、③公開講座、④大学支援事業、⑤教職受験対策講座への補助金の交付等をおこなった。③の公開講座は本部主催が4件、支部主催が9件実施された。
- 6 支部総会は、24支部の総会で開催され、本部から理事を派遣した。
- 7 追悼のつどい 9/7 19家族34名 筑波大学就職ガイダンス講師派遣 広報 季刊誌『茗溪』発行
- 9 1077号(春号) 1078号(夏号) 1079号(秋号) 1080号(正月号)
- 10 茗溪会拡充キャンペーン
 ①茗溪フェロー募集 延べ応募件数 1,346 (3/31現在)

第2号議案 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について
 議長の指示により、田中正造常務理事が資料3-1に基づき平成26年度事業計画(案)について、岩田敏昭局長代理が資料3-2に基づき平成26年度予算(案)について説明した。議長が質問・意見を求めたところ、東京の葛飾支部長、代議員の渡邊悟氏(62筑博農)及び文科省支部の代議員三橋浩志氏(2筑修教)から茗溪サービス株式会社の解散について質問とその後の利活用について質問があったが、それは「報告」の茗溪会館の利活用

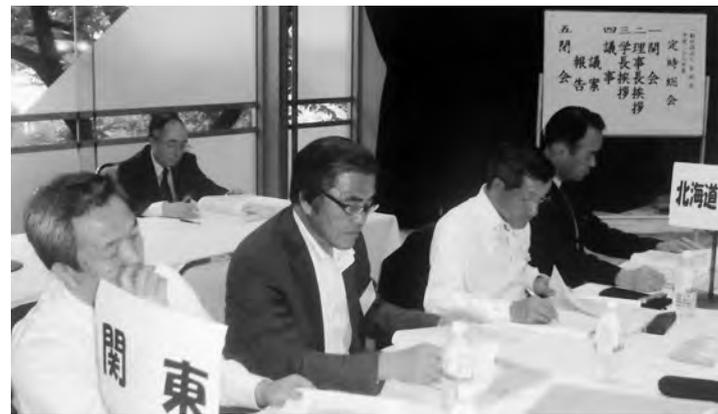


岩田敏昭 局長代理

②名刺交換広告応募者数 暑中見舞い 30人 新年賀詞交換 84人
 (二) 平成25年度収支決算書及び監査報告承認の件
 議長から平成25年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書は本総会で承認を得ることとされている旨の説明があり、岩田敏昭局長代理から資料2-1(2-17)に基づき詳細な報告があった。(項目別の収入及び支出は8ページの収支計算書を参考にされた) 続いて高橋三郎監事より監査報告があった。議長は、第1号議案の一括審議を諮り、全会一致で異議なく承認された。



北海道・東北地方の代議員



北海道・東北地方の代議員



附属校の代議員

のところで田中正造常務理事が応えることとし、本議案については、異議なく賛成多数であったので、議長は可決承認されたことを宣言した。



渡邊 悟 支部長・代議員



三橋 浩志 代議員

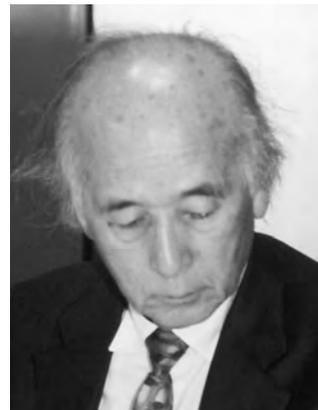
第3号議案 役員の特任について

議長の指示に従い、役員選考委員長を務めた西川潔副理事長から、4月19日に開催された役員選考委員会で7名の選考委員が慎重に審議した結果、任期満了に伴う次期理事及び次期監事の候補者として次のとおり選考したとの説明があり、審議されたい旨の提案があった。

①任期満了に伴う次期の理事としては、重任理事候補者23名、新任理事候補者1名を選考し、新任理事候補者として、五味田優氏を選考した。

②任期満了に伴う次期監事候補者としては、重任監事候補者2名を選考した。以上の提案に対して、議長から、席上

配布の役員候補者一覧に基づき、順次、挙手により選任について諮ったところ、異議なく賛成多数であったので、議長は選任されたことを宣言した。



西川 潔 役員選考委員長

選任された理事及び監事は次のとおり。
〔理事〕 任期 平成26年5月22日
～28年定時総会最終結時

- (重任) 阿江通良 新井達郎 井口武雄
 - 鶴沢 力 江田昌佑 大勝信明
 - 川田孝一 河本 武 神林 喬
 - 佐藤 忍 柴田 淳 庄司一子
 - 高野 力 田中正造 西川綾子
 - 西川 潔 西塚祐一 西野虎之介
 - 平野正美 福岡一雄 宮尾 徹
 - 百瀬明宏 守屋正彦
 - (新任) 五味田優
 - (監事) (重任) 飯塚良成 古藤昭子
- 以上ですべての議事を終了した。

報告事項

(1) 茗溪会拡充キャンペーン中間報告
井口副理事長から資料4-11～4-12に基づき、過去1年間の取組について説明があり、了承された(P10～11参照)。

(2) 茗溪会館利活用等について
田中正造常務理事から、茗溪サービス(株)が3月末で解散した経緯につい

て説明があり、茗溪会館の利活用については、会館問題特別委員会・対策チームで貸し会議室の可能性や茗溪サービス(株)に代わる業者を探すなど、当方の条件に合う業者を模索しており現在、複数の業者と鋭意交渉している状況について説明があった。

連絡事項

- (1) 会員登録状況について
- (2) 第13回顕彰候補者推薦について
- (3) 平成26年度茗溪会学生支援事業(県人会特別枠)について
- (4) 支部からの連絡文書等及び支部還元金について
- (5) 関連法人の役員紹介について
筑波学都資金財団の石山隆行筑波研修センター事務局長、武井秀一学生宿舍管理事務所所長並びに茗溪学園中等高等学校の柴田淳校長の紹介があった。
- (6) 退任挨拶
高橋三郎監事及び北島瑞男理事から退任の挨拶があった。

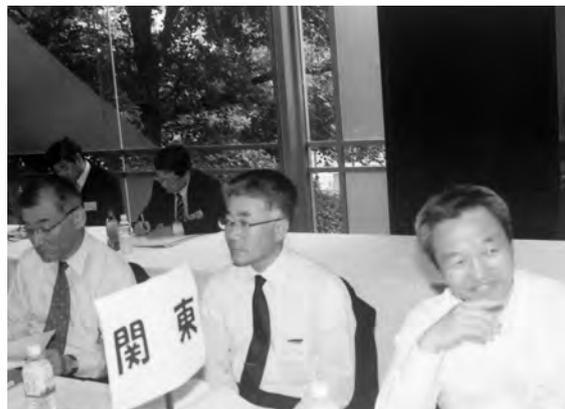
以上で、茗溪会第3回通常総会は、予定されたすべての内容を終了し閉会した。総会に引き続き、会場を4階に移して会員懇談会が開催され、江田理事長の挨拶、出席者による懇談が行われた。



井口 武雄 副理事長



東北・関東地方の代議員



東京・関東地方の代議員



関東地方の代議員

平成25年度決算報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在

単位千円

資産の部	
I 流動資産	
現金	71
振替貯金	12,980
当座・普通預金	204,908
前払費用	111
流動資産合計	218,071
II 固定資産	
特定資産	
満期共済金引当預金	38,350
退職給付引当預金	5,402
修繕積立引当預金	6,000
保証金引当特定預金	192,004
特定資産合計	241,757
その他固定資産	
土地	314,775
建物	696,673
構築物	5,783
機械装置	2,640
什器備品	1,288
定期預金	30,816
通常貯金	52,666
定額貯金	10,000
その他固定資産合計	1,114,644
固定資産合計	1,356,401
資産合計	1,574,472
負債の部	
I 流動負債	
預り金	338
前受金	19,726
未払金	495
未払法人税等	7,232
未払消費税等	441
流動負債合計	28,234
II 固定負債	
保証金	1,400,000
長期借入金	36,266
満期共済金引当金	38,350
退職給付引当金	5,402
修繕積立引当金	6,000
固定負債合計	1,486,019
負債合計	1,514,253
一般正味財産の部	
一般正味財産	60,219
(うち当期増減額)	△26,040
正味財産合計	60,219
負債および正味財産合計	1,574,472

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

単位千円

I 一般正味財産増減	
1 経常増減の部	
1 経常収益	
① 会費収入	44,662
② 地代収入	58,900
③ 委託料収入	32,934
④ 広告料収入	4,325
⑤ 寄付金収入	80
⑥ 雑収入	1,231
⑦ 満期共済金引当預金 取崩収入	1,900
経常収益計	144,033
2 経常費用	
① 事業費	97,507
② 管理費	20,792
経常費用計	118,299
当期経常増減額	25,733
2 経常外増減の部	
1 経常外収益	
① 保証金引当特定預金 増加額	1
経常外収益計	1
2 経常外費用	
① 減価償却費	40,614
② 退職給付引当金繰入	486
③ 修繕目的積立金繰入	3,000
経常外費用計	44,100
当期経常外増減額	△44,009
税引前当期一般正味財産 増減額	△18,366
未払法人税・事業税・ 地方税	△7,674
当期一般正味財産増減額	△26,040
一般正味財産期首残高	86,260
一般正味財産期末残高	60,219
II 指定正味財産増減の部	0
III 正味財産3月末残高	60,219

収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位千円

I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
(1) 事業活動収入	
会費収入	44,662
正会員会費収入	38,346
フェロー収入	6,316
事業収益	96,159
地代収入	58,900
委託料収入	32,934
広告料収入	4,325
寄付金収入	80
雑収入	1,231
満期共済金引当 預金取崩収入	1,900
事業活動収入計	144,033
(2) 事業活動支出	
事業費支出	97,507
管理費	20,792
予備費	2,000
事業活動支出計	118,299
事業活動収支差額	25,733
II 投資活動収支の部	
1 投資活動収入	0
2 投資活動支出	36,486
投資活動収支差額	△36,486
III 財務活動収支	
1 財務活動収入	0
2 財務活動支出	19,100
財務活動収支差額	△19,100
税引前当期収支差額	△29,852
未払法人税等・未払 消費税等	△7,674
当期収支差額	△37,527
前期繰越収支差額	227,364
次期繰越収支差額	189,837



関東地方の代議員



関東地方の代議員



関東地方の代議員

平成26年度 一般社団法人 茗溪会 事業計画

1. 事業計画のねらい

- (1) 本年度は一般社団法人への移行後3年目にあたり、新組織体制のもと事業を円滑に進めるための計画を実施する。
- (2) 公益目的支出計画に基づいて事業の推進を図る。
- (3) 茗溪会館の利活用を向上させるための事業を重点事業として取り組む。
- (4) 財務審議会答申(平成24年2月24日)を受け、新法人移行後継続した見通しをもって事業を展開する。

2. 事業の目的(定款第3条)

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資することを目的とする。

3. 事業の内容(定款第4条)

- (1) 会員相互の親睦を図るための交流事業並びに会員の福祉を図るための共済に関する事業
- (2) 定期刊行物その他出版物などの発行に関する事業
- (3) 研修会、講演会、公開講座等の公衆の教養向上と地域社会への貢献に資する事業
- (4) 学術、芸術、社会貢献、国際相互理解等の顕著な活動に対する奨学、支援、表彰などに関する事業
- (5) 財産の管理・運営に関する事業
- (6) 教育の振興、普及活動に資する事業
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
- (8) 前項の事業は、全国において行うものとする。

平成26年度予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

単位千円

科 目	26年度 予 算	科 目	26年度 予 算	科 目	26年度 予 算
I 事業活動収支の部		福利厚生費支出	420	II 投資活動収支の部	
1 事業活動収入		祭典費支出	720	1 投資活動収入	0
(1) 事業活動収入		旅費交通費支出	950	2 投資活動支出	0
会費収入	45,470	負担金支出	750	(1) 退職給付引当預金支出	486
正会員会費収入	38,430	通信運搬費支出	6,850	(2) 保証金返済引当預金支出	33,000
フェロー収入	7,040	印刷製本費支出	6,000	(3) 修繕目的積立預金	3,000
事業収益	64,330	諸謝金	80	投資活動支出計	36,486
地代収入	58,900	弔慰金(共済会員)支出		投資活動収支差額	△36,486
委託料収入	300	満期共済金支払(共済会)	2,000	III 財務活動収支の部	
広告料収入	5,130	租税公課支出	21,000	1 財務活動収入	0
寄付金収入	100	業務委託費支出	13,300	財務活動収入計	0
雑収入	839	光熱水料費支出	9,200	2 財務活動支出	
満期共済金引当	2,000	火災保険料支出	900	(1) 借入金返済支出	20,600
預金取崩収入		修繕費支出	15,300	財務活動支出計	20,600
預金取崩収	88,000	支払利息支出	800	財務活動収支差額	△20,600
事業活動収入計	200,739	管理費	22,056	税引前当期収支差額	8,670
(2) 事業活動支出		予備費	2,000	未払法人税・事業税・ 地方税	△7,674
事業費支出	110,926	事業活動支出計	134,982	当期収支差額	995
給料手当支出	19,956	事業活動収支差額	65,756	前期繰越収支差額	189,837
助成金支出	12,700			次期繰越収支差額	190,833



関東地方の代議員



関東地方・東京の代議員



関東地方・東京の代議員

茗溪会拡充キャンペーン 中間報告

ゴー・5・90作戦

茗溪会拡充キャンペーン実行委員会

委員長 井口 武雄



茗溪会の拡充のために始めたキャンペーン活動は、5年間を予定しておりますが、第1年目が終了しました。おかげさまで、茗溪フェロー制度を始めたことなどに對して、会員の皆さまから強い関心をいただき、一定程度の成果を得ることができました。今年度も引きつづきキャンペーン活動を強化し、当初目標の達成に向けてまいりますので、各支部組織におかれましても、会員確保、会費納入促進の面で一層のご尽力をお願いします。ここに、当初掲げた活動目標に對しての成果と課題をまとめました。

【1】茗溪会拡充キャンペーンにおいて、増収対策として次のような到達目標を定め、目標達成まで数年間継続して実施することでスタートしました。

- 1 各年度目標として、5%UPの会員増を図る。
- 2 各年度目標として、5%UPの財源確保を図る。
 - (1) 会費、賛助寄付金等の収入金額5,000万円を目標とする。
 - (2) 事業収入(含雑収入)等の収入金額5,000万円を目標とする。
 - 3 各年度目標として5%downの諸経費削減を図る。
- 1 会員数については、新入会員確保は前年度と比べて横ばいでしたが、会費納入により正会員であり続ける会員の数を維持することにおいて、いまだ目標達成とは言い難いものがあります。

大学卒業生に対する入会勧誘については、会費優遇策を設けてそれなりの成果は見られましたが、若い人たちに魅力のある茗溪会の活動であるかどうかの点検など、問題点の究明・解消が急がれております。
- 2 増収対策の方策の一つとして完納会員対象に、茗溪フェローとする年会費を募集したところ、次のような結果でした。
 - (1) 完納会員対象に、会費1口2,000円/年のフェロー会員を募集。
 - (2) 今年度延べ応募者数 1,346件
1,068人(3月31日現在)
 - (3) 今年度フェロー会費入金額
6,316,127円

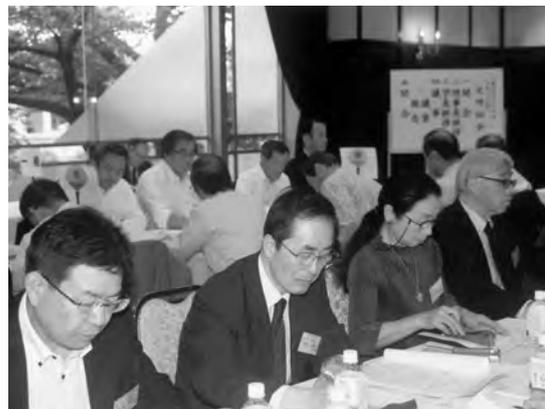
フェロー会員という新しい試みは、一定の成果があったといえます。ただ(2)のうち、すでに完納となった会員が、会費として送ってきたものを
- 3 財源確保策の一つとして名刺交換広告の新設、および広告ページ増を実施いたしました。会員及び支部長等に呼びかけて実施いたしましたところ、次のような成果がありました。
 - (1) 名刺広告応募者数
暑中30人 新年84人
名刺広告料金額 670,000円
 - (2) 広告ページの増設
掲載増4件 約80万円の増収
広告収入計 3,655,000円
- 4 会館事業の収入確保については、平成25年度は予定通りの収入を確保しました。しかし、3月末をもって解散した茗溪サービズ(株)への業務委託を解消いたしましたので、今後の対策が急がれるところであります。
 - 5 経費削減対策として
 - (1) 理事会の開催回数減および交通費の実費支弁を実施しました。交通費支出は約8.5%の減少をみました。
 - (2) 印刷製本費の削減に関して、関係業者と交渉し、細部にわたるコストダウンを図りました。
 - (3) 会報送付料の削減のために、印刷+発送の一括委託による経費削減を図りました。会報送付4回、会費請求2回を一括することにより、年4回の送付としました。これにより、従前とほぼ同額(1%減に達しなかった)の支出でありました。ただし、



中部地方の代議員



中部地方の代議員



関東地方・中部地方の代議員

- 25年度は発送のためのソフト開発費が初期費用(約95万円)として必要でありましたので、次年度からはその分だけ減額となる見込みであります。(4) 通信費の削減については、事務局からの連絡のIT化を進めました。理事会、委員会の連絡は、eメールとFAXの二本立てで行い、郵便は極力使いませんでした。支部との連絡や代議員との連絡も、eメール使用に心がけましたが、さらに正確性と迅速性を追求すべきであると思われず。
- (5) 事業費の減額を図るために、①「追悼録」作成を行いませんでしたが、今後さらに、②公開講座の有料化、③学生活動支援事業の見直しと配分方法の検討などに取り組みすべきであると存じます。
- (6) 法人職員人件費削減(5%down)目標については、定年職員の内1名の雇用形態を変更し、人件費の削減を図りました。今後、筑波事務所の充実のために、大塚からの業務の一部移管を図るために、業務見直しが必要であると存じます。それに伴い、人員削減や配置換えなどにより、一層の人件費削減が予測されます。
- 【2】新しく実施する事業としての取り組みについて
- 1 世代をつなぐ
- (1) 筑波大大学生・大学院生への新しい支援の一つとして、大学院生への「茗溪賞(顕彰)」を実施しました。
- (2) 「茗溪フェロー」を創設(前述)しました。
- 2 地域・職域をつなぐ
- (1) 東京地域の組織の再編として、組織委員会の尽力により「東京都茗溪会」を立ち上げました。第1回総会は、参加者が100名を超え一応のスタートを見ましたが、今後、従来の支部組織の在り方、東京都としての独自活動をどう切り拓いていくか、課題は多いと思われず。
- (2) 季刊誌『茗溪』誌上において、地域・職域等単位組織(以下支部という)の活動の情報交流、支援を強化するための紙面刷新として、「茗溪東西南北」欄の新設を試みました。さらに専攻/クラス/サークル等の同窓会との情報交流を、誌上においてできるように進めることが必要であります。
- (3) 茗溪会ホームページを刷新して見やすくしたとの評判です。当初目指した双方向の情報交換の場となるために、支部のページを新設し、投稿を呼びかけましたが、なおいくつかの工夫と努力が必要であるところ です。
- (4) 支部への活動支援として、それぞれの組織の自主的活動と組織の活性化、あわせて本部事務局との連携や会員確保のための支援等のために、従来の方式を改めました。
- 従来、会費・賛助寄付金の納入方法は、本部事務局への直送と支部経由納入の2通りがあり、支部経由については事務手数料として1割を支部へ還元してまいりました。今年度は、昨年度の実績に基づいて、い

- れの方法によっても、会費の一部を支部に還元できるように改めました。
- ① 会費還元
還元金額＝支部所属納入者数×年会費規定金額×0.1
- ② 還元金は納入者数×平成25年度の支部別入金者数にもとづいて、平成26年度総会以後の時期に送金いたします。



近畿地方・中国地方の代議員



近畿地方の代議員



近畿地方の代議員



**平成26年度
定時総会に出席して
「若狭会拡充キャンペーン」
中間報告を受けた今後の取組み**

神奈川若狭会会長 清水 進一

昨年度からスタートした「若狭会拡充キャンペーン」が一年を経過し、このたびの総会で、井口副理事長から一年間の取組みが報告されました。

- 一 「5%の会員増加」
- 二 「5%の収入増加」
- 三 「5%の経費削減」
- 四 新しく実施する事業

三の「5%の経費削減」については、本部の責務と考え、他の項目についてはこのたびの中間報告を受けて、拡充キャンペーンの推進に当たり、神奈川県として何ができるか、また、一会員として若狭会本部に対して、何が協力できるかを考えてみたいと思います。

「5%の会員増加」

会員増加については、本部では大学卒業生に対する会費優遇策を掲げ、一定の成果が見られたということですが、会員の増加に向けた取組みは、神奈川県という単位組織の中でも取り組む必要性を感じ、これまでも筑波大学生や筑波大学の卒業生に向けた支援を積極的に行い、入会への促進を図っています。

(1) 教員希望者に対する支援

神奈川県を受験する教員希望者に対して、四月に実施要項が発表されると、神奈川若狭会として、実施要項と受験に向けた傾向と対策の詳細な説明会を筑波大学で開催し、さらに、受験教科ごとのアドバイザーを配置し、直接個別相談や指導を受けることができるようにしています。また、一次合格者に対しては、二次試験直前に厚木市内の会場に招き、二次試験対策を行い、合格者の増加を図っています。

最近では、講師等で働いている卒業生もこの取組みを伝え聞き、参加する者が増え、本県で教職に就く人も増加していますし、合格者はほとんどが若狭会に入会しています。

(2) 「若手の会」を発足

筑波大学出身者の交流のために「若手の会」を発足しました。会の運営は、筑波大学出身者が企画し、交流を行っています。さらに、この会が世代を繋ぐ交流となるように、本県から選出された本部署理事や神奈川若狭会の一部の役員や事務局員も参加し、若手の意見を聞いたり、時にはアドバイザーとなるなど、和やかな会合になっています。この会には、教員だけでなく、企業に勤めるサラリーマンや自営の卒業生も集まり、また、若狭会の会員になっていない友人も誘うなど、入会の促進にも繋がっています。

会員の増加を図るには、まず卒業時に若狭会に入会してもらうことが大切で、そのためには、本部の絶大なご努力をお願いするしかありませんが、都道府県等の単位組織としてできることは精力的に実践していきたいと思っています。

その一つとして、本年度からの新たな事業として「県人会」への支援を行うという報告がありました。

私が東京教育大学に在学していた当時も、神奈川県としては県人会というものはなかったと思います。ただ、同じ高校の出身者の会は積極的に行われ、私自身先輩から大変貴重なアドバイスを受けたり、後輩の面倒を一生懸命見た記憶があります。これらの関係は大学卒業後も継続され、同窓のありがたみを肌で感じる事ができました。

このたびの新規の支援事業により現役学生と神奈川若狭会とのパイプが繋がれば、会員の増加にも繋がると思いますので、是非、事業を拡充していただきたいと思いますし、本県としても積極的に協力・活用したいと考えています。

「5%の収入増加」

中間報告では、財源確保の方策として、若狭フェロー会費と季刊誌「若狭」の名刺交換広告があげられました。



中国・四国・九州地方の代議員



中国・四国・九州地方の代議員



近畿地方・中国地方の代議員

総会資料の会費の支部別納入者明細を見ると、フェローによる寄付者は、本県が全国最多でした。また、名刺広告についても、本年の正月号では非常に多くの会員の協力をいただくことができ、神奈川県としてご協力ができたのではないかと考えています。

財源確保については本部だけでなく、神奈川県としても課題があります。

神奈川県では、これまで、会費として千円を、総会等の場で徴収してきましたが、収入は微々たる金額でした。神奈川県若狭会としては、本県独自の積極的な活動を推進したいと考えましたが、そのためには予算が必要ですので、会費の納付を二年ほど前から振込み方式に変更したことにより、格段に収入が増加しました。

これらの収入で、現在は、県内の会員が行う出身学科(学類)別の会合や、職域・年代別の会合等への補助を行うことができるようになりました。

さらに、最大の成果として、神奈川県若狭会の会報として、「若狭かながわ」を発刊することができました。「若狭かながわ」は一年間に二回発刊することを目標とし、一号目は総会の案内に同封し、二号目は総会の後の報告や様々な会合等の報告を盛り込んで、会員に知らせるようになっています。

状況の提供には「会報」の発刊は必要であり、さらに充実するため、財源確保のための方策を考える必要があります。

幸い、本年度から支部への活動支援として、本部会費を支部に還元していただくようになりましたので、どうか赤字解消の一部にはなると感謝いたします。

しかし、充実した活動のためには、更なる財源確保が必要と考え、本県としては会員に対して次のような提案をしたいと考えています。

総会資料によると、本県の完納者は七百五十名で、全国最多ということですが、すでに完納しているため、財源確保には繋がらないこととなります。そこで、この完納会員に対して、若狭フェロー会員になっていただくようお願いするとともに、神奈川県若狭会への賛助(会費プラス賛助金千円程度)もお願いしていきたいと考えています。それは、本部会費の三千五百円は完納していますが、改めてフェローとして二千円以上を本部に、千円程度を神奈川県若狭会に賛助金として会費に加えて協力していただくというものです。若狭フェローの取組みと同趣旨で、あくまでも賛同してくれる会員を対象としますが、このことにより、本部の財源増になるとともに、本県の財源増にもなると考えています。

今後、完納者が増加していくわけですが、フェロー会員の増加の促進のために、会費還元については、フェロー会費も地域に還元していただければ大変ありがたいと考えます。その結果、フェローとして本部の財源確保に協力でき、さらに、地元にも貢献できるわけですので、県内の会員にも理解が得られるのではないかと

と思えます。

新しく実施する事業

今回、新しく実施する事業として、報告された中で、注目したいのが、「地域・職域を繋ぐ」で報告された「東京都若狭会」の発足と「若狭会ホームページの刷新」です。

東京都若狭会の発足の際には、隣接県として、私も出席させていただきましたが、当日の出席者の発足に対する熱意を十分感じることができました。

東京は何分にも大きな組織となりますので、他県とは異なる課題も多いと思われませんが、隣接県として連携ができればと考えています。

併せて、今後、近隣都道府県の交流を図る何らかの方策が図られることを期待しています。

次に、若狭会ホームページの刷新に合せて、支部のページが新設されました。神奈川県若狭会としては、このページを神奈川県若狭会への情報提供の場として、また、各都道府県との交流の場と捉え、今後とも積極的に活用していきたいと考えています。

このキャンペーンは五年計画というところで、まだ、一年目が終了したばかりですので、まだ大きな成果というわけにはいかないわけですが、キャンペーンを推進していくことにより、活動目標以外の成果も見ることができるようではないかと思えます。

本部だけでなく、各都道府県の組織も拡充のための活動を推進していくことに

よって、より良い成果があげられると思いますので、積極的に活動していきたいと考えています。



九州地方の代議員



当日参加の代議員

申し上げます

一般社団法人 茗溪会



<p>神奈川茗溪会 会 長 清水 進 一 (昭和43年卒 教大教) 事務局長 矢野 正 人 (昭和53年卒 修院農) (会長自宅) 〒254-0075 神奈川県平塚市中原1-25-24 TEL 0463-31-3350</p>	<p>神奈川茗溪会 AE海老名・綾瀬法律事務所 弁護士 中 道 徹 (昭和58年卒筑二生) 〒243-0432 海老名市中央1-8-3 えびすビル松本 4 階 TEL 046-205-3780 FAX 046-205-3788 mail: toru.nakamichi@ebiaya.com</p>	<p>大阪茗溪会 会 長 松本 秀 範 (昭和53年 修士林卒) 森ノ宮医療大学 広報室参事 特任教授 〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16 理事長 岡村多加志 (昭和55年 筑一群自然卒) 大阪府立久米田高等学校 校長 〒596-0802 大阪府岸和田市額原町1100</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事長 江 田 昌 佑 (昭和30年卒教大体) 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 副理事長 井 口 武 雄 (昭和40年卒東京教育大学法政) 三井住友海上火災保険(株) 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL 03-3259-3111</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 副理事長 西 川 潔 筑波大学名誉教授 (昭和44年教大構成 昭和46年院修美) 〒305-0031 つくば市吾妻3-1-1-109 e-mail: q.nishikawa@gmail.com</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事 国立大学法人筑波大学 副学長・理事 (教育担当) 教育学博士 阿 江 通 良 (昭和48年教大体育) 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 TEL 029-853-2010 FAX 029-853-6310 E-mail: ae@taiiku.tsukuba.ac.jp</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学数理 物質系教授 新 井 達 郎 研究基盤 (昭和56年博士課程化学研究科修了) 総合センター長 TEL 029-853-4315 arai@chem.tsukuba.ac.jp</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 う ざわ つとむ 鶴 沢 力 (昭和63年卒筑波大学社会学類) 三井住友銀行 名古屋ローン推進部長 tmuzawa@ma.kitanet.ne.jp</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事 大 勝 信 明 (昭和26年卒文四) 墨林書道院特別顧問 東京親鸞会 副会長</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 川 田 孝 一 (昭和39年卒教大総農科) 〒194-0045 町田市南成瀬5-29-6 TEL 042-728-5428 連絡先 桜美林大学入試広報センター 相談役 TEL 042-797-6196</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 株式会社 ユーハイム 代表取締役 社長 河 本 武 (昭和37年卒体育学部健康学科) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-2-9</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事 神 林 喬 (昭和40年教大教育学科卒) 〒225-0023 横浜市青葉区大場町360-51</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学 生命環境系教授 佐 藤 忍 教育企画室長 (昭和60年筑波大博士課程生物) TEL 029-853-4672 email: satoh.shinobu.ga@u.tsukuba.ac.jp</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 茗溪学園中学校高等学校 校 長 柴 田 淳 (昭和52年教体卒) (昭和56年筑修体) 〒305-8502 つくば市稲荷前1-1 TEL 029-851-6611</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事 茗溪学園 理事長 西 野 虎 之 介 (昭和28年卒教大農経科) (自宅) 〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場92 TEL 029-285-7786</p>	<p>学校法人 茗溪学園 理事 大 藪 元 史 〒164-0002 東京都中野区上高田1-31-4</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 福岡経営労務事務所 所長 社会保険労務士 福 岡 一 雄 (昭和32年卒教大法政) 〒125-0042 東京都葛飾区金町3-27-3 TEL 047-361-2618 FAX 047-361-2643</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学キャリア支援室長 教 授 守 屋 正 彦 (昭和51年教大芸卒) (昭和53年教大院修美) 〒305-0005 つくば市天久保4-5-4 TEL 0298-50-3901</p>	<p>飯塚公認会計士・税理士事務所 公認会計士・飯 塚 良 成 税理士 (茗溪会監事) (事務所) 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台14-7 TEL 045-988-0846 FAX 045-988-0847 mail: nqf46967@nifty.com</p>	<p>一般財団法人 筑波学都資金財団 理事長 田 中 正 造 (昭和36年卒 教大健康) 事務局長 石 山 隆 行 理事・監事・評議員一同 〒305-0005 つくば市天久保1-13-5 TEL 029-851-5152</p>



平成26年(2014年)

暑中見舞

<p>茗溪会北海道支部</p> <p>支部長 沖野 隼夫 (昭和41年卒体育学部体育学科)</p> <p>(連絡先) 茗溪会北海道支部事務局 TEL 011-802-8760 札幌市厚別区厚別中央5条4丁目8-12-504 鶴野和憲 方</p>	<p>茨城茗溪会</p> <p>会 長 郡 司 丈 児 (昭和53年卒筑一文) 会 員 1,837名</p> <p>(連絡先) 事務局 水戸一高 木城 TEL 029-224-2254</p>	<p>茨城茗溪有志会</p> <p>五味田 優 (昭和47年卒教大団) 会 員 55名</p> <p>(連絡先) 日立一高 郡司(筑一人文) TEL 0294-22-6488</p>
<p>茨城県庁茗溪会</p> <p>会 長 中 根 一 明 (病院局長 昭和56年卒第三学群社会学類)</p> <p>副会長 伊 藤 哲 (教育庁参事兼総務課長 昭和56年卒第一学群人文学類)</p> <p>副会長 角 田 英 樹 (企画部水・土地計画課長 昭和56年卒第一学群社会学類)</p> <p>幹事長 関 山 敏 (保健福祉部保健予防課室長 昭和59年卒第二学群比較文化学類)</p> <p>(連絡先) 茨城県教育庁文化課 永塚 (平成7年卒第三学群社会学類) 〒310-8555 水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-1111 内線 5453</p>	<p>茨城茗溪占春会</p> <p>高瀬 宏樹 (昭和55年卒筑一自) 石崎 弘美 (昭和55年卒筑一自) 齋藤 文夫 (昭和53年卒筑一体) 外 35名</p> <p>(連絡先) 郡司 TEL 0294-22-6488</p>	<p>茨城茗溪体育・OB会</p> <p>会 長 高 野 大二郎 (昭和40年卒教大団)</p> <p>幹事長 菊 田 靖 久 (昭和52年卒教大団) 会 員 60名</p>
<p>茨城茗溪地歴公民部会</p> <p>会 長 郡 司 丈 児 (昭和53年卒筑一人文)</p> <p>副会長 鈴 木 一 弘 (昭和58年卒筑修教) 外 62名</p> <p>(連絡先) 水戸一高 川久保典昭 TEL 0294-22-6488</p>	<p>茨城茗溪数学部会</p> <p>会 長 石 崎 弘 美 (昭和55年卒筑一自) 外 55名</p> <p>(連絡先) 水戸二高 TEL 029-224-2542</p>	<p>茨城茗溪理科部会</p> <p>会 長 武 井 一 郎 (昭和54年卒筑一自) 外 50名</p> <p>(連絡先) 石岡二高 平山茂男 (昭和59年卒筑一自) TEL 029-923-2101</p>
<p>茗溪会埼玉支部 評議員 埼玉県退職公務員連盟会長 日本退職公務員連盟副会長</p> <p>荒 井 修 二 (昭和25年卒東京高師理科三部)</p> <p>(自宅) 〒339-0005 さいたま市岩槻区東岩槻5-3-12 TEL 048-757-1549</p>	<p>常陽茗溪会</p> <p>会 長 広 瀬 茂 (昭和57年卒筑三社工) 会 員 106名</p> <p>〒310-0021 水戸市南町2-5-5 常陽銀行本店内 TEL 029-231-2151</p>	<p>茗溪会千葉支部</p> <p>支部長 秋 山 尚 功 (昭和38年卒教大東洋史)</p> <p>〒286-0021 千葉県成田市土屋892-79 TEL 0476-24-4425</p>
<p>茗溪会千葉支部(公立高等学校校長)</p> <p>千葉県立幕張高等学校 校長 大久保利宏 (昭和52年卒教大健)</p> <p>千葉県立匝瑳高等学校 校長 布留川 厚 (昭和52年卒教大物)</p> <p>千葉県立柏井高等学校 校長 内藤 秀子 (昭和53年卒筑体)</p> <p>千葉県立土気高等学校 校長 網代 伸 (昭和53年卒筑体)</p> <p>千葉県立沼南高等学校 校長 蛭名 一則 (昭和53年卒筑体)</p> <p>千葉県立君津青葉高等学校 校長 根本 進 (昭和54年卒筑二農)</p> <p>千葉県立成東高等学校 校長 猿渡 末治 (昭和55年卒筑一自)</p> <p>千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 校長 畑 順子 (昭和54年卒筑芸)</p> <p>千葉県立若松高等学校 校長 佐藤 宰 (昭和57年卒筑二人間)</p> <p>千葉県立勝浦若潮高等学校 校長 石塚 和美 (昭和57年卒筑二比文)</p> <p>千葉県立稲毛高等学校・附属中学校 校長 山本 昭裕 (昭和55年卒筑体)</p> <p>習志野市立習志野高等学校 校長 由利 聡 (昭和55年卒筑体)</p> <p>銚子市立銚子高等学校 校長 長谷川 茂 (昭和55年卒筑一自)</p> <p>船橋市立船橋高等学校 校長 山崎 成夫 (昭和56年卒筑体)</p>		<p>茗溪会筑波大学支部</p> <p>支部長 森 嶋 厚 行 (平成10年筑大院・博士課程修了)</p> <p>支部役員・会員一同</p> <p>(事務局) 〒305-8577 つくば市天王台1-1-1 茗溪会筑波事務所内 TEL 029-850-1044</p> <p>一般社団法人 茗溪会 代議員</p> <p>中 村 穎 司 (昭和35年卒文学部国文科)</p> <p>〒343-0825 越谷市大成町2-331-1 TEL 048-988-0338</p>



清水 一彦 氏

季刊誌「茗溪」では、秋号から

「教育学者 清水一彦さんと考える “日本の教育”」を

シリーズで連載します

茗溪会員の中には、教職に就いた方も多くおられます。また、卒業後に教職に就職を望む筑波大学生のために毎年3月に行っている「教職就職受験対策研修会」には、年ごとに参加希望者の増加が見え、日常的にも、茗溪会筑波事務所での相談窓口には教職に進みたいと希望して来訪する学生も多いのが現状です。

一方、わが国では、社会、経済、文化などあらゆる分野でのグローバル化に対応し、国際的に活躍できる人材を育成していくための大胆な教育改革が求められています。

しかし、学校では「いじめ」や「不登校」の問題が依然として後を絶ちません。「学力低下」の問題も大きな教育課題のままです。そして近年は、親の経済状態が子どもたちの勉学の機会を奪いつつあるという実態が拡大してきています。

そこで、季刊誌「茗溪」では、茗溪会の諸先輩や教職をめざす筑波大学学生の皆さんの関心や要望に応じていくため、新しい試みとして、秋号から、教育に関する「連載特集」を組み、教育学者清水一彦氏（筑波大学副学長）とともに、いまわが国が直面しているさまざまな教育課題の原因を探りながら、「未来を託す子どもたちのための望ましい教育はどのようなものであつたらいいのか」をシリーズで考えてまいります。
ご期待下さい。



滝本 壮大 委員長

第40回

宿舎祭を終えて

報告者 滝本 壮大
(理工学群工学システム学類三年)

今年第40回という節目を迎えた宿舎祭でしたが、両日とも天気にも恵まれ、皆さんの方々に来場していただくことができました。

宿舎祭（やどかり祭）は、新入生を中心とした学生同士の交流、また学生以外の方々にも祭に参加していただくことで、学生と地域の交流の場となることを目的としています。

また、今回の宿舎祭のテーマは「拍手喝祭」でしたが、祭を称賛の拍手であふれるようなものにしたという思いから決めさせていただきました。

今年40回を記念して、40回記念企画「福男レース」を行いました。わかりやすく、インパクトのある企画を行いたいと考えていたため、企画立案の段階で多くの企画案が挙がってはボツとなりました。そんな中、ルール、内容が単純明快で、メインストリートに大人数が駆け抜けるという迫力のある福男レースという案があり、行うことになりました。安全面やルートの確保など、様々な問題がありました。多くの皆様のご協力があったからこそ、当日は人が出ることなく、無事に行うことができました。

福男以外にも御興企画やゆかたコンテストなど、様々な企画を行い、成功させることができました。出演して下さった皆さま、そして来場して下さった皆様様のおかげです。このように振り返ってみると、第40回はテーマと目的の両方を含め、委員だけでなく来場して下さった皆さまとともに祭をつくり、最後には祭にかかわった全員が、いい祭だったと称賛し合えるようなものにできたのではないかと思います。またこの祭によって、新しいつながりができ、皆さまのこれからの生活をより良いものにする手助けができたのではないかと思います。

開催にあたってご協力いただいた方が、来場して下さった皆さま、そしてともに祭をつくってくれた仲間にお礼を述べたいと思います。今までの40年の積み重ねを無駄にせず、これからも宿舎祭が、学生や地域の身近なものとして愛される「祭」となることができるようにしていきたいと思っております。

大学は今

平成26年度入学式を挙行

4月7日に、大学会館講堂において、平成26年度学群・理療科教員養成施設の入学式並びに大学院入学式を挙行しました。学群2、217人、編入学生124人および理療科教員養成施設入学19人、大学院2、417人が新たな一歩を踏み出しました。大学院の人間総合科学研究科には、社会人特別入試で、元プロ野球選手の工藤公康さん、吉井理人さん、仁志敏久さんが入学。入学式後に開かれた記者会見で、それぞれの決意を述べました。



①(左から)吉井理人さん、工藤公康さん、仁志敏久さん

猶本光選手が AFC女子アジアカップでの活躍を報告

5月14〜25日に、AFC女子アジアカップベトナム2014が開催され、なでしこジャパン(サッカー女子日本代表)が初優勝を成し遂げました。

6月13日には、この大会で、なでしこジャパンに初めて選出された猶本光選手(体育専門学群3年)が、永田恭介学長および阿江通良副学長、清水一彦副学長、東照雄副学長を表敬訪問して、今大会の成績を報告しました。



②永田恭介学長と猶本光選手

③左から永田恭介学長、森川亮氏、吉田和正氏



①茨城労働局長から認定書を受け取る東照雄副学長(写真右)



「くるみん」マークを取得

本学は、厚生労働省茨城労働局より、労働者の仕事と子育ての両立を積極的に支援する「基準適合一般事業主」(子育てサポート企業)に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。

本学は、次世代育成支援対策推進法に基づき、第3期一般事業主行動計画(平成22年4月〜平成26年1月)を策定し、子どもの看護休暇の取得要件について法律を上回る小学校3年生までに拡大したほか、時間外勤務縮減のため、時間外勤務が一定時間を超えた職員とその管理監督者に対し注意メールを自動配信するシステムを導入するなどの取組みを進めてきました。

現在は第4期一般事業主行動計画(平成26年1月〜平成27年3月)に基づき、これまでに導入してきた出産や育児に関する制度の周知などに取り組んでいます。

「筑波クリエイティブ・キャンパス」開催を発表

本学は5月15日、東京キャンパスで記者会見を開き、永田恭介学長が「筑波クリエイティブ・キャンパス」の開催を発表しました。

同企画は、つくばを「日本のシリコンバレー」を合言葉に、本学出身の経営者が、起業を目指す本学学群生・大学院生100人を対象に、7月18日〜20日の3日間に渡って直接指導するサマーキャンプです。講師として、森川亮氏(LINE株式会社代表取締役社長)、吉田和正氏(前インテル株式会社代表取締役社長)、山海嘉之教授(サイバーデザイン株式会社創業者兼CEO)ら15人ほどが登壇の予定です。

に、4割近い例の語順が説明できないことから、別の原則が関わっているように思われる。

そこで、次に母音と子音の音声上の特徴から、等位句の語順に関わる原則を探ってみた。たとえば、rain or shine では語頭の子音は聞こえ度の大きい順に並んでいて、push and pull, hoof and horn の2例では、語尾の子音はそれぞれ聞こえ度が「小さい～大きい」という順に並んでいる。この規則に合致する例を加えると、合計30例 (30/43=69.77%) の等位句では構成素が明確な原則に従って並べられていることになる。それでもなお、30%強の例の語順の並べ方の原則が解明できない。

4 等位句と凍結句

等位句の例を『動物農場』から採ったことから、動物を2種類並べた表現 (sheep and cows)、動物の体の部位 (manes and tails)、家畜の飼料 (oats and hay)、家畜の装備品 (bit and spur) などを並べた句が多く出てくる。これらの例のうち、英語の構造上の特徴から語順を説明できないものは、言語構造以外の原則に従っている可能性がある。牧畜業者ならこのような語の種類や優劣の知識が豊富で、並べ方にも通じているかも知れない。しかし、素人は学問上有効な判断はできない恐れがあるので、これらの例の考察は別の機会に譲りたい。

そこで、今度は(3)のようなごく一般的な英語の等位句を取り上げ、語順の原則について考察してみたい。これらの例についても一定の基準に従ってグループ分けした上で分析するのが望ましいと思われる。そこで、(3a) の body and soul のように本来は一組の「鍋と蓋」のようなものとして存在し、主たるものが句の最初の位置を占める場合、(3b) の gold and silver のように順序や価値判断が社会通念として定まっただけで、好ましいものを最初の位置におく場合、(3c) の east and west のように空間や方角の捉え方として定まっただけで、その順序に単語を配置する場合の3つに分けた。大切なことは、これらの等位句の構成素の順序は英語の音構造に優先するという点である。たとえば、(3a) の body and soul の語順はすでに見たとおり音節数に関する原則に反するが、「鍋と蓋」の原則に即したものであるとして、この語順が優先される。

- (3) a. body and soul, bow and arrow, bread and butter, fish and chips, pen and ink
b. boys and girls, father and son, men and women, ladies and gentlemen, friends and foes, gold and silver, heaven and earth, right or wrong, right and left
c. east and west, north and south, far and wide, in and out, on and off, up and down

5 日本語の等位句とモーラ

興味深いのは、(3a) の例の中で英語の語順が日本語では正反対になっている場合が24例中4例もあることである。そこで、日本語の(4a)のような等位句ではなぜ英語と正反対の語順が生じるのかを考えてみた。ちなみに、英語の語順と同じ語順の日本語の等位句は(4b)に挙げた5例である。なお、日本語の例は音読みではなく、訓読みとする。

- (4) a. friends and foes 「敵も味方も」、in and out 「出たり入ったり」、ladies and gentlemen 「紳士諸君、並びに御婦人方、みなさん」、rain or shine 「照っても降っても」、east and west 「西に東に」
b. body and soul 「身も心も」、north and south 「北へ南へ」、right and left 「右や左に」、up and down 「上がったり下がったり」、win or lose 「勝っても負けても」

英語と日本語はまったく別の系統の言語であり、様々な点において異なるが、特に等位表現に最も関係が深い単位が大きく異なる。英語では音節がリズムの単位となっていて、dog, bird, three ではいずれも1音節から成り、強く発音され

る部分が一か所であるのに対して、mother, leader, honest は2音節から成り、強弱というリズムを示す。一方、3音節の beautiful, wonderful, excellent は強弱弱のリズムの型を持つ。これに対して、日本語は「ん」を除いて、母音がなければリズムの単位が形成されない。そのために、英語ではたとえば test のような1音節語の場合、日本語では te は子音+母音であるから、そのまま「テ」([te]) となるが、次の s は単独では存在しえないことから、母音を添えて「ス」([su]) とし、最後に語末の t はやはり母音を添えないと語の一部にはなりえないので、母音を付加して「ト」([to]) とする。その結果、英語では長さの単位として最も短い1音節であった語は、日本語に置き換えると「テスト」となる。日本語のリズムの単位は「モーラ」(mora) と呼ばれ、母音を中心とする長さの単位を形成していて、母音だけでも、子音+母音でも1モーラとなるが、母音の後の [n] (= [N]) は例外的に1モーラを形成する。したがって、英語の test を日本語に置き換えた「テスト」はモーラというリズム (または長さ) の単位では3モーラの長さがあることになる。

このモーラを用いると、英語の等位句と語順が正反対になったり、英語と同じ語順になる(5)のような日本語の等位句の語順がきれいに説明できる。すなわち、単語の意味ではなく、モーラの数が少ない方が最初の位置を占め、多い方が後にくる。モーラの数が同じ場合には、意味の上で勝っているものが先に来る。なお、括弧内の数字はモーラの数を示す。

- (5) a. friends and foes
「敵も味方も」→敵・味方(てき・みかた=2・3)
in and out
「出たり入ったり」→出る・入る(でる・はいる=2・3)
east and west
「西に東に」→西・東(にし・ひがし=2・3)
rain or shine
「照っても降っても」→照る・降る(てる・ふる=2・2)
b. body and soul
「身も心も」→身・心(み・こころ=1・3)
north and south
「北へ南へ」→北・南(きた・みなみ=2・3)
right and left
「右や左に」→右・左(みぎ・ひだり=2・3)
up and down
「上がったり下がったり」
→上がる・下がる(あがる・さがる=3・3)
win or lose
「勝っても負けても」
→勝つ・負ける(かつ・まける=2・3)

まとめ

英語も日本語も、単語はただ雑然と並んでいるのではなく、言語特有の原則に従い、その原則は言語の構造に根差している。もっとも、社会通念上の優劣は言語構造上の原則より優先されることが多い。英語のリズムの単位は音節であるが、日本語では指折り数えることのできるモーラが単位となっている。日本語の多くの等位表現ではモーラの数が少ない方が最初の位置を占める。



講座終了後に質問する参加者



藤原教授の英語のはなし 第九弾

「単語の並べ方」

講師：藤原保明(筑波大学名誉教授)

平成21年の春に産声を上げた「藤原教授の英語の話」は9回目を迎えた。

はじめに

英語では gold and silver, heaven and earth, to and fro, trick or treat のように語が2つ並列して「A and B」または「A or B」という形式をとる「等位句」と呼ばれる表現が多く用いられる。このような等位表現の構成素の語順に関する原則や普遍性の有無などは興味深いことから、今回の講演では英語と日本語の等位句を取り上げ、2つの語がどのような原則に従って並べられているのかについて考えてみた。

1 英語の等位表現の語順の原則

英語の等位表現の例はイギリスの小説家ジョージ・オーウェルの『動物農場』(1945年刊)から抜き出した。「A and B」または「A or B」という形式の句のうち、動詞は She jumped and slipped on the ice. のように、その意味や語の構造によって順序が決まるのではなく、動作や状態の順序に左右されることから、対象から除外した。

『動物農場』で用いられている43種類の等位句から構成素の語順を決定する規則を見つけ出すためには、基準を設定し、それに基づくグループ分けが必要となる。このような例の分類方法として最も簡単で便利なのは、構成素の音節数によって(1)のような3つのグループに分けるやり方である。すなわち、等位句の2つの語のうち、2番目の語の方が音節数が多い(1a)のような場合、2つの語の音節数が同じ(1b)のような場合、最初の語の方が音節数が多くなる(1c)のような場合の3つである。(1b)型は(1a)型の2倍の例があり、(1a)型と正反対の(1c)型はわずか1例のみである。このことから、等位句の構成素の語順は語の長さとは何らかの関係があり、頭でっかちの(1c)のような語順はあまり好まれない可能性がある。なお、(1)の例の括弧内の数字はその句の使用回数を表す。

(1) a. A < B (= 14例)

chaff and mangels, comfort and dignity, correct and original, cows and horses, friends and enemies, geese and turkeys, hunger and overwork, idle and dishonest, old and toothless, picks and crowbars, rats and rabbits, slowly and mournfully, wheat and barley, wise and benevolent

b. A = B (= 28例)

bit and spur, by and large, clever or simple, day and night (= night and day), ducks and hens (cf. hens and ducks (2)), external and internal, grain and meal, hay and corn, here and now, hoof and horn, manes and tails, misery and slavery, oats and hay (2), once or twice, pigs and lambs, pushing and pulling, rain or shine, red and black, rich and free, thick and green, sheep and cows, sleet and snow, sooner or later (= soon or late),

support and pleasure, terror and slaughter, to and fro (5), vanity and ambition, weak or strong
c. A > B (= 1例)
body and soul

2 言語音の聞こえ度と音節

(1b)の3つ目の clever or simple という句は一般の英語辞典では1音節と考えられているが、正しくは、語末の [l] は音節を構成することから、2音節語である。それゆえ、同じく2音節語の clever と等位句を形成していることから、(2b)のグループに入ることになる。

言葉は音波であるから、聞き手は山と谷の起伏のある音の波の情報を手がかりにして音の種類などを識別している。音には聞こえやすいものとそうではないものがある。具体的には、母音は子音よりも聞こえやすく、子音は阻害音(閉鎖音・摩擦音・破擦音)、鼻音、側音、流音、渡り音の順に聞こえ度が高くなる。一方、母音は口の開け方の大きい開母音→口の開け方が狭い閉母音の順に聞こえ度が低くなる。これは「聞こえ度」の階級と呼ばれ、阻害音(閉鎖音→破擦音→摩擦音)→鼻音→流音→渡り音→母音のように右に行くほど聞こえ度が高まる。

3 音節数が同じ等位句の語順

(1b)の例はそのままでは構成素の語順の原則を解明する手がかりがつかみにくいので、(2a, b, c)のように、音節数が同じ例をそれぞれ1つのグループに入れてみた。このように分類すると、(2a)のような1音節語の構成素間の比較は容易になる。

(2) a. bit and spur, day and night, ducks and hens, grain and meal, hay and corn, here and now, など (20例)

b. sooner or later, support and pleasure, terror and slaughter (3例)

c. external and internal, misery and slavery, vanity and ambition (3例)

聞こえ度の階級と音節構造を手がかりにして、等位句の構成素の音節構造を立体的に表すと(ここでは紙面の都合で省略するが)、red and black のように音節数は同じであっても、右側の語の構成素の方が左側のものよりも複雑であることがわかる。この例と同じタイプの語は28例中14例あり、(1a)の音節数の多い構成素が右側に来る等位句と同じ構造であるとみなせる。そうすると、『動物農場』の43例の等位句のうち27例(=62.80%)では、音節数がより多いか、それとも音節構造がより複雑な語を2番目の位置に置くという原則に従って語が並べられているといえる。しかし、それでも、push and pull のように2つの構成素の音節数と音節構造の複雑度が同じ場合が12例、grain and meal のように音節数または音節構造の複雑な語が最初の位置を占める場合が4例、合計16例(=全体の37.20%)は原則に合致しない。このよう

東京教育大学・筑波大学体育会ヨット部 OB・OGと現役部員の交流

筑波大学体育会ヨット部では、今年第52期となる新入生を迎えました。ここ数年はOBも手伝って、新入生に海の魅力を知ってもらおうと海での試乗会を開いており、今年も浦賀のサニーサイドマリーナでOBと新入生を含む現役部員とともにクルージングとBBQを楽しみました。この時集まったOBはヨット部10期から43期で、じつに幅広い世代が集まりました。これもヨット部では長年に渡ってOBと現役部員の交流が盛んに行われてきたことによるものと思います。

茗溪・東西南北



福岡県支部では――

福岡県支部では、慣例として現職の校長が支部長を、県教育委員会事務局に勤務する職員（主に体育スポーツ健康課）が支部事務局長を務め、支部総会及び懇親会を原則として毎年7月第1土曜日に福岡市内で開催しています。

例年、総会には東京文理科大卒の大先輩から新卒の若手まで、多くの会員が集まっており、筑波大学や茗溪学園の活躍等を話題にしなが、業種や世代の垣根を超え

ヨット部は、東京教育大の創部の頃から千葉県館山の北条寮（現館山研修センター）で夏合宿を行い、練習に励んできました。夏合宿では最終日に「OB戦」と称しOB対現役のヨット対抗レースが行われ、OB戦参加のためにOB・OGが毎年思い出の詰まった北条寮を訪れてきました。現役部員はOB戦を通してOBと知り合い、そして数年後には自らOBとなって館山を訪れるということが何十年も繰り返されてきたのです。

その他にも年末には納会、年度末には追いコンが毎年東京で開かれ、5年ごとには周年記念パーティを茗溪会館で開催し、東京教育大学のOB、筑波大学のOB、そして現役部員が集まり親睦を深めています。OB会の正

このページは 会員の交流ページです。

各地の活動・様々な交流について
お知らせして行きます。
支部活動等についてもできるだけ多く
報告して参ります。
執筆の依頼の折には快諾を！

た幅広い交流が行われ、極めて有意義な会となっております。

特に、福岡県はもとより、戦後日本の体育・スポーツの発展に大きく貢献された福岡大学名誉教授の梶山彦三郎先生（昭19体二卒）には、盛夏の中にもかかわらず毎年出席していただき、先生から拝聴する理路整然たる教育論は、後輩たちにとって実に大きな財産となっています。

また、卒業間もない若い会員にも、脈々と続く茗溪の繋がりを大切にしてもらいたいと考え、筑波大卒会員を

式名称は「茗溪ヨット倶楽部」としておりますが、OBへのお知らせや、その他宣揚歌でも「東京教育大学・筑波大学」と両大学名を常に併用し、東京教育大学の名はOB会では今もお健在であり現役です。これだけの世代の広がりを持った交流の場はそうあるものではなく、これからもより発展・充実させていきたいと思っております。

来たれ！新入生。

（筑波大学人間 昭61年卒 筑波大学ヨット部21期 大島久幸）



中心とした『若手会員の集い』を毎年12月に行っています。

今後も、多様な人材を有する茗溪会の輪を広げ、会員相互の親睦はもとより、啓発に資する支部活動の充実に取り組んでまいりますので、多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。 支部長 奥山訓近（昭53教大木工）

茗溪学園だより

茗溪学園の校技／ラグビー・剣道

本校では、男子はラグビー、女子は剣道を校技とし、体育授業では全員に履修させています。特定の種目を校技としたのは、スポーツ・運動に関心と親しみをもち、生涯にわたって楽しむ雰囲気を作るには、校技としてより深く経験することがよい、という初代校長の考えによるものでした。

ラグビーが選ばれたのは、英国のパブリックスクールを本とした寮生活を、教育に取り込もうとする考えと、チームスポーツでは最も多い15人でプレーすることが、本校の運動場の制約（長方形のグラウンドが一面しか取れない）から、限られたスペースでより多くの生徒たちに運動量を確保するには最適、と考えられたからでした。筑波大よりラグビーを専攻した体育教師を迎え、開校以来男子生徒はラグビーに親しんできました。

女子の剣道は、少し遅れましたが、剣道を専門とする体育教師を得て、校技となりました。一対一で対峙する緊張感の中、「攻めて打つ」という剣道の考えが、社会に出て活躍する女性には大いに役立ち、校技として価値あ



一面の銀世界。今年の突寒ラグビーは大雪に見舞われた



校技大会・剣道。全校優勝チームは教員選抜(剣道の先生を含む)チームに挑戦。試合場を多くの生徒が取り囲み観戦・応援する。



「次、行くところは？何を調べるんだっけ。」
中央農業総合研究センターにて。
中学3年は班別活動で、予め決めた行動計画に従って移動していく。

るものと、初代校長が話されていたことを思い出します。礼を重んずること、構えた姿の美しさなども挙げられていました。

ラグビー、剣道が校技とされているところから、本校には、他校にはないいくつかの特徴的な行事が生まれました。

寒稽古・突寒ラグビー

これは、高校2年生（この行事の期間全員が寮生活をする）と寮生が参加しますが、厳寒の2月、夜も明けやらぬ早朝に行われます。剣道を校技とするからには、寒稽古は必然の流れであり、開校以来の行事となつています。高校2年の女子全員と寮生の女子、中学1年生寮生男が参加します。筑波大学剣道部の協力を得て、総勢二百名ほどの声が体育館にこだまします。

男子のラグビーは、武道における「寒稽古」のような名称がなかったたので、本校オリジナルで「突寒ラグビー」と名付けました。朝5時半過ぎ、暗闇の中ボールも見えないような状況で始まりますが、体から湯気が沸き立つほどの熱気に溢れるプレーが展開されます。

厳しい条件に耐えて打ち克つ精神の強さが求められます。生徒たちは、声を掛け合って元氣よくこの行事をやり遂げます。

校技大会

ラグビー、剣道の一年間の成果を発表する場として、3月度末の2日間、校技大会が行われます。剣道では学級対抗の団体戦と、1年から5年の縦割り学級チーム（A～F組）による試合が行われます。団体では、学年優勝チームが全校優勝をかけて対戦し、中学生が高校生を破る試合も見られます。剣道部員の活躍もありますが、週1回早朝に剣道を行っている寮生が、チームの勝敗のカギを握っています。なお、本校女子のほぼ全員が、卒業時には剣道1級以上の有資格者となっています。

ラグビーは、学年ごとの学級対抗戦ですが、中学1、2年生は、体重順に2チームを編成し、重量級、軽量級同士で対戦します。中3以上は15人制ラグビーです。クラスの全員が出場するように交替しなければならぬこと、ラグビー部員の同時出場人数などが学年ごとのルールとして決められます。部員は学級のリーダーとなって頑張りますが、選手としてはなく、学級をいかにまとめられるかという力量が学級の戦績に反映されています。

研究所見学（春の行事）

この行事は、年度初めの4月、近くにある農林研究団地の一般公開日に日程を合わせて行う科学の街「つくば」ならではのものです。この日、中学1年生は、エキスポセンターや地質標本館に、中学2、3年生は、農林研究団地に向かいます。中学は全員歩いていきます。1年生は学年全体で、2年生は学級ごとに、3年生は班ごとに行動計画を作成して見学先を決めています。

高校1年は、つくば市内ではありませんが歩くには遠すぎる研究施設（高エネ研、土木研、国土地理院、実験植物園など）にバス移動で見学します。高校2年は、千葉県佐倉市にある歴史民俗博物館、高校3年は、東京の科学未来館となっています。

中学1年から高校2年までの活動は、秋に行われるそれぞれの学年行事であるキャンプや国内・海外研修旅行時の集団行動（活動単位によって連絡態勢が変化する中で）の練習機会としても位置付けられています。

平成二十六年春の叙勲

おめでとうございます (敬称略)

旭日中綬章

高松 信英 32教大教

(長野)

瑞宝中綬章

藤井 英嘉 33教大
小川 英行 34教大物

(北海道)
(岩手)

瑞宝小綬章

岡本 茂 25理一 30教大数 32院修数 (千葉)	牧野 彰吾 41教大動 (埼玉)
鈴木 博雄 28教大教 30院修教 (茨城)	三戸 一嘉 41教大健 (埼玉)
今村 浩明 34教大教 (千葉)	仲村 計美 43教大哲 (千葉)
栗林 幸男 31教大数 33院修数 (長野)	京野 勝 40教大農化 (神奈川)
北尾 倫彦 30教大心 (大阪)	須山 英治 40教大日史 (神奈川)
桜井 治 32教大物 (兵庫)	古谷 多市 38教大健 (和歌山)
関 一雄 34院修日文 (山口)	
佐藤 恒雄 40教大國 42院修日文 (香川)	瑞宝双光章
	齋藤 俊英 40教大哲 (神奈川)
	土谷 忠昭 40教大物 (大分)
	高齡者叙勲 瑞宝小綬章
	野尻 憲治 22農教化 (福井)

著書紹介

終日自彊息まず——中村俊也先生追悼文集

編集発行 中村俊也先生追悼文集刊行会

本の大きさ 全178頁、上製本。

連絡先 〒六一二一八五二二

京都市伏見区深草藤森町一番地

京都教育大学国文学科 谷口匡

メール tadashi@kyokyo-u.ac.jp

二〇一三年三月に逝去した中村俊也なかむらしんや前筑波大学教授(昭41教大漢)を偲んで、比較文化学類、地域研究研究所の有志卒業生等が呼びかけ、編集した追悼文集。
口絵写真、略年譜、著作目録、随想文・研究会レジュメなどを含む遺稿、杜維明教授弔電、弔辞、追悼文43篇で構成される。
表題の「終日自彊息まず」は日々倦まず努める意で、『易経』に由来する中村先生の座右の銘よりとったもの。比較文化学類通信『光陰』に執筆した珠玉の隨筆を多数収め、当時の大学をとりまく世相も窺える。
僅少ながら残部あり、入手希望の方には無料にてお送りするので、氏名・送付先を添えて、前記連絡先まで早めにご一報いただければ幸いです。

谷口 匡 (昭60筑二比)

公立中一貫校長の校長日誌

著者 高岡 正幸(昭52 教大漢文)

本の大きさ A5 192ページ 1,944円

出版社 学事出版

高校教員、県教育委員会管理主事、指導主事を経て高校教頭、中学校校長、県教委指導課長を務めた著者が、千葉県立初めての中高一貫校、千葉県立千葉中学校・高等学校の校長に発令され、在職4年間の記録を、生徒への講話や学校内外への教育に関する寄稿等で綴った学校経営日誌。
併せて、県高等学校国語部会長、県高等学校文化連盟会長、県高等学校長協会長も歴任した著者のそれぞれへの寄稿や地元誌である千葉日報への寄稿も収録した。中学・高校の学校経営について示唆に富んだ文章を多く収録している。

著書紹介の掲載について

季刊誌「茗溪」には、茗溪会員の皆さまの著書を紹介しております。先輩・後輩・友人などの著書を、25字×18行程度の紹介文にして茗溪会事務局へ送ってください。

なお、書名、著者およびご本人の卒業年度、学部・学科(学群・学類)、本の大きさ、ページ数、価格、発行所等を付記して下さい。

◆博報堂OB茗溪会

とき 平成26年3月27日(木)
ところ 茗溪会館

昭和30年代、40年代に卒業し、教職が多い中で広告会社博報堂へ入社した仲間はこれまでの総勢は60名を超えている。これには元東京教育大学教授石三次郎先生と元博報堂副社長川上昇氏のお二人の功績に負うところが大きい。石先生は学生の一般企業への就職に、川上氏は東京高等師範を卒業され、後輩の博報堂への入社に尽力されました。お二人のご功績に感謝しながらの昼食会でした。これぞ東京教育大学・筑波大学と博報堂との「絆」です。(長坂邦彦)



◆昭和31年英語学・英米文学専攻卒業クラス会

とき 平成26年5月16日(金)
ところ 新宿高島屋タイムズスクエア「美先」

卒業時に40名いたクラスメイトも58年後の全員が傘寿を迎えた現在、呼びかけに応じ集合した者は9名でした。近況報告では全員が思い思いに過去、現在、未来を熱く語り時が経つのも忘れるほどでしたが2年後の再会を期して別れました。(幹事 古谷三郎)
写真説明：後列左から／園城寺信一、古谷三郎、岡野昌雄、松崎中正、川名幸雄
前列左から／鎌井恒子、半谷順子、諏訪秀隆、中田 修



◆東京教育大学文学部史学科東洋史学専攻昭和38年卒業クラス会

とき 平成26年5月25日(日)～27日(火)
ところ 会津若松市東山温泉 新瀧旅館

7年前までは、ご健在だった中嶋敏先生を含めて、山紫会という名で、山行・お寺巡礼・温泉巡りなど、毎年数回、行事を行って来ました。今年は卒業して51年、福島県の会津・東山温泉に9名集まりました。母校が人脈、建物とも跡形もない(占春園を除いて)のは、何と云っても、「さびしいなあ」という声もありました。(写真：柴崎正行 文：中村幸次)



◆東京教育大学農学部林学科昭和37年入学者同期会

とき 平成26年4月18日(金)
ところ 銀座ライオン池袋東口店

昭和37年入学の同期12名が茗溪会館に集合、筑波大学東京キャンパスと占春園を散策の後、池袋で旧交を温めました。半世紀ぶりに顔を合わせた仲間も、卒業当時の顔と声で、大いに話が盛り上がりました。物故者4名を偲ぶと共に、生き続けての再会を誓いました。(写真：前列左から／矢野、山下、永田、河野、宮崎、後列左から／小坂橋、松尾、本郷、指旗、青山、石亀、神川、都合つかず欠席／福田、中池)(幹事：神川、宮崎、松尾)



◆三四会(東京教育大学 理学部 数学科 昭和34年卒)

とき 平成25年5月23日(金)
ところ さがみ(銀座・ニュートーキョー2F)

卒業して55年、47回目の集いになる。遠路福岡、香川、新潟、松本からを含めて14人の出席を得た。昨年、病を押して参加してくれたM君が残念ながら物故され、彼に捧げる黙祷から始まった。4月初めに、人間ドック学会他が健康基準値の緩和を発表があり、一挙に健康優良老人となったと喜びの声が挙がった。歓談の後、Y君が地元の子供たちに行っている手品をいくつか披露してくれた。その中に、フィボナッチの数列を用いた「数当て遊び」に関心が集まった。

来年は、5月22日(金)に集まることを約束して散会した。

(文・写真 龍井昇治)



追 悼 録 (敬称略)

岡田 明 筑波大学名誉教授 26・1・26
 〒270-0123 流山市若葉台58-41 長女 高橋 淳子
 渡邊 良雄 筑波大学名誉教授 25・10・8
 〒166-0002 杉並区高円寺北3-26-8 妻 渡邊 美枝
 牧野 正利 昭16文二 26・4・3
 〒814-0142 福岡市城南區片江5-32-7 妻 牧野美津子
 浅井 正友 昭16理二 25・12・6
 〒921-8133 金沢市四十万町北ヲ26 妻 浅井 礼子
 小島 英男 昭18文五 26・4・3
 〒370-0864 高崎市石原町1088 妻 小島 光子
 大谷地元一 昭18将軍数 26・4・25
 〒639-0254 香芝市関屋北7-15-14 長男 大谷地元弘
 石田 巖 昭19臨物象 25・1・21
 〒165-0026 中野区新井3-36-21-504 妻 石田 美子
 松本 壽吉 昭19体専 26・3・28
 〒815-0075 福岡市南区長丘2-17-23-301 妻 松本 朝子
 宮崎 武臣 昭19農教 26・6・6
 〒802-0816 北九州市小倉南区若園4-14-58 妻 宮崎 和子
 鶴澤 武視 昭20体専 26・1・27
 〒289-2145 匝瑳市若潮町8-11 妻 鶴澤三井子
 山崎四三夫 昭20農教 26・4・24
 〒692-0017 安来市下坂田町987-1 長男 山崎 賢二
 塩井 清従 昭20文図講習所 25・11・28
 〒222-0031 横浜市港北区太尾町1730 長男 塩井 秀雄
 坪内 薫 昭22臨生 26・1・18
 〒146-0085 大田区久が原2-4-25 妻 坪内 昭恵
 早川芳太郎 昭23大哲 24・9・6
 〒114-0023 北区滝野川3-87-3 霜鳥様方 妻 早川 昭子
 菊地 定則 昭23特中国漢 26・4・17
 〒371-0003 前橋市堤町555-14 二男 菊地 公則
 楠見 善男 昭24大化 26・2・26
 〒174-0051 板橋区小豆沢3-11-5-103 長男 楠見 充男
 原田 榮 昭24文四 26・3・31
 〒965-0832 会津若松市天神町5-25 妻 原田 ユキ
 加藤 薫 昭24理一 26・4・10
 〒178-0065 練馬区西大泉1-27-21 長女 加藤 明子
 馬場 丈夫 昭24理四 26・4・9
 〒975-0005 南相馬市原町区二見町2-65-1 妻 馬場 桂子
 本庄 寛 昭25大英 25・9・18
 〒215-0005 川崎市麻生区千代ヶ丘5-2-10 妻 本庄 雅子
 植草 栄 昭25体 25・2・1
 〒273-0002 船橋市東船橋5-12-17 妻 植草 千重

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

岩田 豊 昭26理三 26・2・6
 〒418-0051 富士宮市淀師1386-10 妻 岩田 多子
 小出 勝彦 昭26理四 25・12・24
 〒959-1824 五泉市吉沢2-3-44 妻 小出 内子
 武藤 忠春 昭26芸 26・5・15
 〒185-0032 国分寺市日吉町3-9-2 長男 武藤 大司
 金子 光雄 昭26農教 26・3・7
 〒252-0243 相模原市中央区上溝7-20-12 妻 金子 淳子
 石野昌一郎 昭26農教 25・6・12
 〒932-0122 小矢部市浅地85 長男 石野 昌一
 津村 靖 昭27理二 25・2・28
 〒271-0092 松戸市松戸新田533-12 妻 津村 きみ
 小柳 弘 昭27農教 26・2・19
 〒960-8254 福島市南沢又字西原32 長男 小柳 尚
 内田 正男 昭28教大化 26・5・19
 〒270-2261 松戸市常盤平5-22-6 妻 内田 典子
 浦野 尚 昭28教大農経 25・11・17
 〒277-0042 柏市逆井4-11-26 長女 村岡 純子
 金井 秀一 昭32教大東史 26・3・10
 〒370-0071 高崎市小八木町1423-15 妻 金井 文代
 斉藤源三郎 昭33教大東史 26・2・17
 〒195-0074 町田市山崎町1189-9 妻 斉藤 道子
 森竹 秀世 昭33教大農経 26・4・8
 〒420-0873 静岡市葵区籠上7-33 妻 森竹 弘子
 小池 正胤 昭34院修日文 26・1・26
 〒161-0031 新宿区西落合1-27-12 妻 小池 三枝
 野村 和生 昭35教大倫 25・5・29
 〒226-0013 横浜市緑区寺山町362-36 妻 野村 和子
 青柳 好信 昭35教大教 26・2・20
 〒326-0012 足利市大久保町949-6 妻 青柳 柳子
 市村 緑郎 昭37教大彫塑 26・4・27
 〒338-0014 さいたま市中央区上峰4-14-20 妻 市村 晴子
 佐々木明彦 昭38文図養成B 26・2・20
 〒755-0081 宇部市北小羽山町3-3-3 妻 佐々木鶴代
 茨木 俊夫 昭39教大特教 26・2・28
 〒336-0917 さいたま市緑区芝原3-11-10 妻 茨木 啓子
 齋藤 功 昭40教大地 26・3・27
 〒300-0837 土浦市右廻1994-18 妻 齋藤 信子
 久下 正和 昭47教大体 26・1・12
 〒520-2271 大津市稲津3-13-7 妻 久下マサ子

追悼のついでのご案内

日 時 平成26年9月13日(土)
 11時30分～14時30分
 場 所 筑波大学 大学会館3階 特別会議室
 参加対象 事務局にご連絡をいただいた物故の客
 員会員のご遺族と関係者
 ご案内 7月末から8月初旬にご案内致します

公開講座 今後の予定

東京地区 今年度の予定は終了しました
 筑波地区 筑波地区の公開講座は、本会と筑波大学、学都
 資金財団の共催で開催されます。

(1) 日 時 平成26年9月27日(土)
 場 所 筑波研修センター

講 師 藤原保明先生(筑波大学名誉教授)
 題 目 英語のはなし 第10弾
 「英語をさかのぼる」

(2) 日 時 平成26年11月29日(土)
 場 所 筑波研修センター

講 師 西川綾子先生(本会 理事)
 題 目 『年末・年始に楽しむ寄せ植え
 (水戸植物公園 園長)
 鉢花の栽培と管理』

(3) 日 時 平成26年12月13日(土)
 場 所 筑波大学 国際会議室

講 師 熊倉功夫先生(静岡文化芸術大学長)
 題 目 未定

茗溪賞 顕彰式 日程

日 時 平成26年11月26日(水)
 11時30分開会 14時20分終了

場 所 筑波大学 特別会議室ほか

* 顕彰録 平成27年4月に作成し顕彰者及び関係
 者に贈呈します。

広報

地域組織(支部)への会費還元について

茗溪会は、地域・職域における単位組織(支部等)の活動を支援するために、所属支部会員が支払った年会費の一部を各支部へ還元します。今年度については、平成25年度中の年会費支払者数を支部別に集計し、還元金を算出します。ただし、支部集金分については集金手数料を支払っていますので除外します。方法は次のとおり。

- ① 計算式 Ⅱ 支部所属納入者数×会費額(3,500円)×0.1
 - ② 26年度支部組織表の所定欄に送金先口座番号を記入して届出。口座名義は支部名義または役員の個人名義。
 - ③ 支部からは、還元金の使途について、支部活動の実際に応じて報告する。支部総会時に作成した事業報告書、決算報告書、事業計画書、予算書等でもよい。
- 以上、地域・職域等の活動の活性化と会員及び会費獲得を期して、この新規事業を実施しますので、よろしく願います。

地域組織(支部)総会

これから地域組織(支部)の総会が次々と開催されます。本部から理事がお伺いする組織は次のとおりです。

- 大阪(6/7) 筑波大(6/10) 奈良(6/21) 長野(6/22)
 栃木(6/28) 群馬(6/29) 神奈川(7/5) 福岡(7/5)
 静岡(7/6) 愛媛(7/6) 千葉(7/6) 三重(7/6)
 富山(7/6) 愛知(7/12) 東京(11/16) 山梨(12/8)

お詫びと訂正

前号(1081号 平成26年春号)で誤りがありました。お詫びして訂正致します。

P1 下段右 写真の説明

- (正) 笹岡るり 洋画「呼応する記憶」
 (誤) 福山菜穂子 クラフト領域「ある日のこと」
 下段左 写真の説明
 (正) 福山菜穂子 クラフト領域「呼応する記憶」
 (誤) 笹岡るり 洋画「呼応する記憶」

平成26年度人事について

一般社団法人 茗溪会

理事長 江田 昌佑
 副理事長(財務経営担当) 井口 武雄
 副理事長(同窓会・大学対応担当) 西川 潔
 常務理事(兼事務局長) 高野 力

事務局

大塚事務所 高原 将(所長) 岩田 敏昭
 室岡 和彦 和泉 千代

筑波事務所 重政文三郎(非常勤) 清水 進一(非常勤)
 五木田喜男(所長) 立山 雅博

関連法人

一般財団法人 筑波学都資金財団

理事長 田中 正造
 副理事長 鶴巻 勝夫
 常務理事 高野大二郎

学校法人 茗溪学園

理事長 西野虎之介
 校長 柴田 淳

「茗溪フェロー」掲載漏れのお詫びと追記

本誌1079号と1081号に茗溪フェローにご協力いただいた会員の皆様の芳名録を掲載致しましたが、平成26年1月7日にお振り込みいただいた福田正義様の氏名が漏れておりましたので、追記させていただきます。

一般社団法人 茗溪会にご寄付

このたび昭和24年に東京文理科大学を卒業された本会の会員様(匿名希望)から平成26年5月7日に10万円のご寄付をいただきました。ご意向に従いまして有効に活用させていただきます。誌上をかりて、お礼を申しあげます。

編集後記

・特集は「第3回定時総会」です。例年掲載している内容の他に井口副委員長の「茗溪会拡充キャンペーン・5・5・go作戦」の中間報告と神奈川茗溪会会長の清水進一氏の総会に関する投稿を、掲載しました。
 ・前号から掲載を始めた「大学は今」は、筑波大学の広報室から原稿と写真の提供を受けて編集したものです。同じく前回から掲載を始めた「茗溪東西南北」へ今後とも積極的に各地の活動の様子をご連絡下さい。記事が多ければ増ページして対応して参ります。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡下さい。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

表紙の言葉—表紙デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

大学のほぼ中心、図書館前の広場中央に設置された彫像。東京高等師範学校卒業の中村晋也先生が2007年に文化勲章を授章された翌年に、筑波大学に寄贈された。今や景観にもすっかり馴染み、欠くことの出来ないキャンパスのシンボルである。作品名は「Miserere X VII 1999」

平成26年7月15日発行

発行所 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一-五-二三

TEL 〇三-三九九四-〇一三六

FAX 〇三-三九九四-一七六七

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇一-二四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一-一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九-八五〇一-〇四四

FAX 〇二九-八五〇一-〇四五

E-mail tsujimu@meikei.or.jp

印刷所 東京都文京区関口一-三九-一〇

山浦印刷株式会社



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO

Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当：執行役員秘書室長 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

- ☆ 24時間営業
- ☆ お迎え料金無料
- ☆ カード利用 OK!
- ☆ 貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

日本酒 本格焼酎 来福 醸造元
来福酒蔵株式会社

日本酒 来福
真向勝負



純米吟醸

桐の花酵母を使った
筑波大学の酒

桐の華

ご注文は
〒300-4546
茨城県筑西市村田 1626
TEL 0296(52)2448
FAX 0296(52)6448
e-mail/
fujimura@raifuku.co.jp



smart
wellness
CITY スマートウエルネスシティ

健幸づくりは
「まち」
づくりから



つくばウエルネスリサーチは
高齢化が進んでも、そこに暮らすことで
健幸になれる「まち」
“Smart Wellness City”の
実現を支援しています!

※「健幸」=身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ
安心安全で豊かな生活を送れること



株式会社つくばウエルネスリサーチ
〒300-0817 茨城県つくば市研究学園D区9画地
研究学園スクエアビル5F

Smart Wellness City 首長研究会事務局

TEL: 029-849-5800 FAX: 029-849-5800

新刊案内

2014年
6月30日刊行



サービスサイエンスことはじめ
 数理モデルとデータ分析によるイノベーション

高木英明 編著

A5判・並製/358頁/3,100円+税 ISBN978-4-904074-30-5 C3063

今日の産業は、工業製品のものづくりから、サービスのものづくりに転換している。その中で、科学的・工学的手法により、生産性向上とイノベーションを牽引するのがサービスサイエンスである。本書は、サービスシステムにおける顧客と従業員の満足度評価や最適設計の基礎となる、数理モデルとデータ分析の方法を豊富な応用例とともに独習できる書である。

【主な目次】はじめに／略語一覧／記号一覧／第1章 人と設備が関わるサービスシステムのサイエンス／第2章 待ち時間と混雑の数理／第3章 待ち行列の数理と心理／第4章 コールセンターの資源管理／第5章 ランキングを求める数理的方法／第6章 スタッフ・スケジューリング／第7章 レベニューマネジメント／第8章 ビジネスデータの線形回帰モデル／第9章 サービス・プロフィットチェーン／第10章 成功するサービス経営のアート／索引

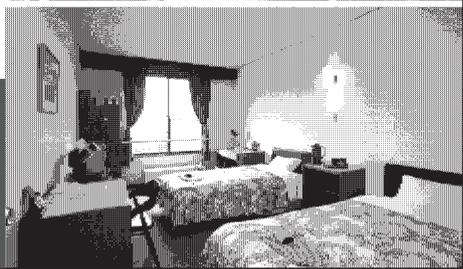
今後の刊行予定 ◊もっと知りたい! 「科学の芽」の世界 PART 4

<p>一般社団法人 食医同源之会 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-43-6 オリムピアビル 6 F TEL&FAX 03-3654-2410 代表理事 渡邊 悟 (56筑二農 62筑院博農) http://syokuidougen.main.jp</p>	<p>堀内法律事務所 〒305-0025 つくば市花室1011番地 TEL 029(857)4411 FAX 029(857)4412 所長・弁護士 堀内 昭三 (35教大法政)</p>	<p>相続・法人設立・ビザ etc... 行政書士 高谷真一事務所 〒300-0826 土浦市小松ヶ丘町3番15号 TEL&FAX 029-821-8177 代表 高谷 真一 (平20筑修ビジ)</p>
<p>海城中学・高等学校 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 電話 03-3209-5880 校長 水谷 弘 (昭40教大数)</p>	<p>経営・労務・年金etc.コンサルタント 福岡経営労務事務所 〒125-0042 葛飾区金町3-27-3 TEL 047(361)2618 FAX 047(361)2643 所長 福岡 一雄 (32教大法政)</p>	<p>聖徳大学 文学部 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 電話 047-365-1111(代表) E-mail: akifuji@seitoku.ac.jp 学部長 藤原 保明 (昭48教修英 平3筑博文言)</p>
<p>株東京科学光芸社 茗溪会館写真スタジオ 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 茗溪会館3階 TEL 03-3945-9390 FAX 03-3945-9392</p>	<p>株式会社 十和観光  代表取締役 井坂 洋 URL http://www.juwa.com E-mail travel@juwa.com 〒300-2451 茨城県つくばみらい市茨輪254 TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220</p>	<p>スポーツ選手、文化人のマネジメント&キャスティング トレーニングジム、鍼灸整骨院、デイサービスの運営 株式会社 スポーツカンパニージャパン 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-17-8 京ビル5F TEL 072-452-0030 http://tachiryugym.com 代表取締役 藤田 文武 (筑波大体育 2004卒)</p>
<p> 永井建設株式会社 〒273-0115 千葉県鎌ヶ谷市東道野辺3-1-7 電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940 営業部長 高野 力 (昭48教大木工)</p>	<p>印刷・製本までトータルに対応 株式会社 ケエスアイ 東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-6-7 九段NIビル2F TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669</p>	<p> 株式会社 長谷工 コーポレーション 〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号 電話 03(3456)1578 執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)</p>

筑波での宿泊・研修に

ご家族で、お仲間で 最大収容180名、お一人3,600円から(消費税率引上後、料金改訂予定)
 茗溪会員とご家族に割引あり
 研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
 シングル145室 ツイン5室 和室5室/研修室2室 (120・40名)
 和室も研修室として利用可 (20畳、10畳)
 館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等 (数名から80名まで)

アクセス 秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
 ●バス/「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
 徒歩8分 ●つくば駅からタクシー/5分



一般財団法人 筑波学都資金財団
筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
 TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886
<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail:center@meikei.or.jp

(株)ブライダルは
筑波大学同窓会会員の
皆様の「結婚」を応援します。



結婚

36年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に筑波大同窓会の皆様には平成17年より「筑波大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「茗溪」を見たとおっしゃってくだされば、茗溪会の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

筑波大コース 登録料
50%OFF

ブライダルコース
¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース
¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索 

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>
<http://www.bridal-vip.net/m/>



右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)

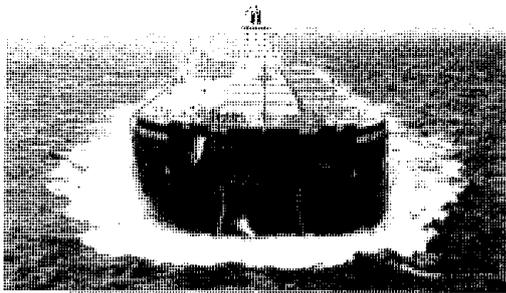


36年の実績
株式会社

ブライダル

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
Network / 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

Ships 21 Co., Ltd.
shipbrokers



外航大型貨物船・タンカー等の備船・売買の仲介
海運コンサルタント

世界中のマーケットと直結して日本のそして世界の
海運業に貢献すべく。 体力・気力があり、英語が
堪能な若い方、興味があったら来てどんな仕事か見
てみませんか。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-10 仙石山アートハウス
TEL: 03-3438-2351 shipsuz@ships21.co.jp
代表: 鈴木 進 1973年東京教育大学理学部動物学教室卒
現: 筑波大学ラグビー部OB会、副会長



桜美林大学
J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
入試広報センター相談役 川田 孝一 (昭39 教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ共同)
¥ 6,500→平日¥ 4,800 休前日¥ 5,800

シングルA (バス・トイレ付)
¥ 8,200→平日¥ 5,950 休前日¥ 6,950

ツイン (バス・トイレ付)
¥13,800→平日¥ 9,800 休前日¥12,800

朝食バイキング ¥ 1,050→¥ 760

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口 } より徒歩7分
JR新宿駅より車5分

茗溪会館写真スタジオ

ご婚礼・成人式・七五三・ご入学卒業写真・証明写真
家族写真・集合写真・出張撮影等・卒業アルバム作成



〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 茗溪会館
(株)東京科学光芸社 3階
TEL 03-3945-9390 FAX 03-3945-9392

茗溪学園中学校高等学校

茗溪学園は1979年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

理事長 西野虎之介 (28農経)
校長 柴田 淳 (52体 56院修体)

〒305-8502 つくば市稲荷前1-1
<http://www.meikei.ac.jp> TEL 029(851)6611

- ◆寮のある学校です
- ◆Study Skillsを評価し伸ばす学校です
- ◆海外大学進学も選択肢にできます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です



平成26年度公開行事

9月 6日(土) 高校受験生見学会

9月23日(火)~28日(日)

茗溪学園美術展

会場：茨城県つくば美術館

10月25日(土) 学園入試説明会

1月30日(金) SS研究・個人課題研究発表会

会場：筑波大学・大学会館



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)